

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃともしび 株式会社ともしび		団体ウェブサイトURL https://tomoshibi.co.jp
代表者職・氏名	齊藤 隆		
制作団体所在地	〒 171-0033	最寄り駅(バス停)	早稲田
	東京都豊島区高田1-12-17		
電話番号	03-6907-2731		
ふりがな 公演団体名	おべれったげきだんともしび オペレッタ劇団ともしび		団体ウェブサイトURL https://tomoshibi.co.jp/operetta
代表者職・氏名	本道 亮		
公演団体所在地	〒 171-0033	最寄り駅(バス停)	早稲田
	東京都豊島区高田1-12-17		
制作団体 設立年月	昭和43年3月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 齊藤隆 取締役 丸山堅司 取締役 清水正美 他	団体構成員:「ともしび」の音楽文化を創造し、普及しようとするもの。 加入条件:上記要件を認め、活動しようとするものはだれでも。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	高柴秀樹
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	小松原奈々子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	takashiba@tomoshibi.co.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1968年 オペレッタ劇団ともしび発足 1971年 株式会社ともしび設立 (この間) オペレッタ「べっかんこ鬼」「お月さんももいろ」首都圏中心に公演 日本児童演劇協会主催僻地巡回公演 茨城・千葉・高知公演など 1989年 「金剛山のトラたいじ他」韓国より招聘公演(以後5次にわたり韓国各地で公演) 1992年 芸術振興基金助成公演オペレッタ「金剛山のトラたいじ他生野野外公演」 1994年 オペレッタ「金剛山のトラたいじ他」平成6厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財 2002年 アシテジ(国際児童青少年演劇協会)世界大会・ソウル招聘公演 オペレッタ「金剛山のトラたいじ他」(文化庁フェスティバル助成) 2009年 日本・メコン交流記念オペレッタ「シンプルプレイ 3びきのこぶた」ラオス、カンボジア、ベトナム公演 2018年 オペレッタ「トラの恩がえし」厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財受賞 2019年 オペレッタ「トラの恩がえし」一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財受賞 現在に至る</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>1967年 学校公演開始オペレッタ「カップ沼の宝物」年間30公演程度公演 幼稚園・保育園公演「ごんべえかかし」「狼五郎」 1980年代 オペレッタ「べっかんこ鬼」、「お月さんももいろ」等年間100日程度公演 1980年代 オペレッタ「ねこの家」オペレッタ「金剛山のトラたいじ」など年間150日程度公演 1990年代 オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」など年間120日程度公演 金剛山のトラたいじは、1980年代から2000年代に5回の韓国公演を行った 2000年代 ともしび「バラエティ劇場」「金剛山のトラたいじ」など年間80日程度公演 2010年代 オペレッタ「トラの恩がえし」ともしび「バラエティ劇場」など年間80日程度公演 主に首都圏を中心に公演 この間、オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」は文化庁「本物の舞台芸術体験事業」 2020年代 オペレッタ「トラの恩がえし」は令和元年、令和2年、令和3年、令和4年、令和5年に「文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、 公益社団法人日本児童演劇協会地方巡回公演は、1980年代からほぼ毎年採択され、首都圏以外の学校公演を多数行う。</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>公演実施校:北海道白樺養護学校、北海道余市養護学校、北海道紋別養護学校、岩手県立松園養護学校、千葉県我孫子養護学校、埼玉県松山養護学校、埼玉県立蓮田特別支援学校、都立町田特別支援学校、埼玉県立和光養護学校、岡山県健康の森学園養護学校、長野県立稲荷山養護学校、島根県松江清心特別支援学校、愛知県立盲学校、埼玉県立毛呂山特別支援学校、都立城南特別支援学校、都立墨東特別支援学校、都立光明特別支援学校、東京都立鹿本学園、都立小平特別支援学校、都立羽村特別支援学校、都立高島特別支援学校、町田特別支援学校、山梨県あけぼの特別支援学校、神奈川県立麻生特別支援学校、埼玉県立日高特別支援学校、埼玉県立川口特別支援学校、岐阜県立本巣特別支援学校等、神奈川県立瀬谷特別支援学校 2023年現在50数校。</p> <p>公演演目:オペレッタ「お月さんももいろ」 オペレッタ「金剛山のトラたいじ」 「おっととおっと音あそび」 オペレッタ「いのちのバトン」 オペレッタ「シンプルプレイ」で2つの寓話劇 オペレッタ「おもしろどんどん」 「ともしびバラエティ劇場」 オペレッタ「トラの恩がえし」等</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/j9x6a1a_Ll4</p>		
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>PW:</p>	<p>なし</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	オペレッタ「トラの恩がえし」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オペレッタ「トラの恩がえし」</p> <p>原作 韓国・朝鮮民話 音楽 リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から 脚本 中西明+韓国・朝鮮と日本チーム 演出 大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム 美術 内山勉 新井真紀</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	9			
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ●人間同士の「心の垣根」が諍いや対立、戦争など大きな不幸を生み出している今日、その「垣根」を取り払う思いやりや優しさ、相手への理解の大切さを描きたく、この作品を選びました。また、人の役に立つこと、人に喜ばれることが自分の喜びともなる、そんな生き方、人と人との「生き合う」姿を伝えたいと願っています。 ●あわせて、隣国の文化に触れ、異文化への理解と共感を広げるきっかけとなることを期待しています。 			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>小学校では、劇のオープニングをいっしょに演じます。まず祭りの始まりをつけるかけ声を全員で行います。続いて本作のテーマ曲を簡単な振り付け付きでいっしょに歌ってもらいます。韓国の伝統的な民謡のひとつをモチーフにした曲で、民族楽器「チャング」で伴奏します。続いて二つの組に分かれて「わらべうた」を歌います。舞台上に上がる人数は20名程度、最大30名程度までですが、それ以上の人数を希望される場合、客席でいっしょに歌うスタイルもあります。必要に応じて事前に楽譜、CD等を用意します。</p> <p>中学校では役者の歌唱に伝統的リズムの手拍子で参加してもらいます。チャング奏者に心を寄せ、即興的なリズムを重ね合わせていく体験となります。また最後の大道芸の一部を6名程度の生徒に体験してもらうことが可能です。</p>			

出演者	中西明 李在浩 藤崎健太 本道亮 金嬉仙 千足咲菜 河野梨花																							
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	<table border="0"> <tr> <td>出演者:</td> <td>7</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><hr/></td> </tr> <tr> <td>合計:</td> <td>8</td> <td>名</td> </tr> </table>	出演者:	7	名	スタッフ:	1	名	<hr/>			合計:	8	名	運搬	<table border="0"> <tr> <td>積載量:</td> <td>2</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>車長:</td> <td>6,5</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>台数:</td> <td>1</td> <td>台</td> </tr> </table>	積載量:	2	t	車長:	6,5	m	台数:	1	台
出演者:	7	名																						
スタッフ:	1	名																						
<hr/>																								
合計:	8	名																						
積載量:	2	t																						
車長:	6,5	m																						
台数:	1	台																						

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7時30分	2時間30分	90分	10分	1時間30分	14時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日			10日	10日	
	11月	12月	1月	計	60日	
	10日	10日	10日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	小学校20～30人程度 中学校制限なし		
			鑑賞人数目安	1公演300人以内		

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



会場全体の上演風景

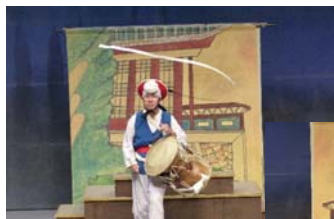
平土間で舞台間口10M おくゆき 8 m以上
舞台奥のバック幕の高さは7Mになります。

客席は、劇団持ち込みのベンチと、学校のパイプ椅子や、マットを使用し脚製段差をつくり、見やすくします。



オペレッタ「トラの恩がえし」上演風景

出演者7名でお送りします。
伴奏は、韓国で購入した楽器で生演奏します。



フィナーレ「韓国・朝鮮の大道芸」上演風景

チャング演奏
ポナノリ(皿回し)
ヨルトバリ(ひもの付いた帽子の長いひもを回す)
などを紹介し、エンディングを盛り上げ終了します。



【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20～30名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>小学校ではおよそ80分を目安に、舞台上で動くことを前提に1クラス以内の人数で行います。中学校では1時限を目安に演奏会形式で行い、人数の制限は設けません。</p> <p>小学校では劇のオープニングで歌われる2曲を練習し、本公演に参加してもらいます。 まず、開幕をつけるかけ声を韓国語で練習します。続けて、伝統民謡をモチーフにした歌を、簡単な振り付けをつけて歌います。次に、「村の子どもたち」、「トラの子どもたち」の2グループに分かれ、いっしょに遊ぶ歌を歌います。 これは、遙か昔にはトラと人間が仲良く暮らしている時代があった、という情景の表現で、ストーリーの最後の方で、その意味が改めて理解できるような構成になっています。 歌の練習の合間に、チャング(朝鮮半島の伝統打楽器)の演奏を簡単な解説を添えて行い、時間的に余裕があれば実際に楽器に触ってもらう時間を作ります。 また、伝統服や履き物などを例にとりて、日本と朝鮮半島の文化の共通点と違いなどを説明します。</p>  <p>中学校では演奏会形式で打楽器演奏、民謡歌唱などを聴いてもらい、解説とあわせて朝鮮半島の独特のリズムを感じ取ってもらいます。続いて、そのリズムの基本パターンを説明し、手拍子でたたいてもらい、本公演にその手拍子で参加してもらいます。 また、小学校同様伝統服や履き物などの日本との共通点と違いなどについて知ってもらいます。</p> 		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>韓国の独特な、歌唱やリズムの特性を知ってもらい、本公演で演奏される歌や演奏に親しみを持ってもらうことが第一の目的です。 韓国・朝鮮とは古代から多くの交流があり、文化的にも様々な共通点を持ちながら、また、まったく違う面もあります。 そうした共通点と相違を、とくに音楽文化の面で感じてもらいたいと思います。 また、劇(Play)が「遊び」の延長であることを楽しく感じ取ってもらえるワークショップにしたいと思います。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>コロナ禍・インフルで集団での歌唱ができない場合、リズムでの参加が可能です。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

オペレッタ劇団ともしび

】

①本事業に対する取り組み姿勢

1) 日頃、芸術鑑賞・体験の機会を持ちにくい小規模校で公演できることが、この事業の魅力であり、優れた点です。

また、ワークショップと本公演、2度の訪問で子どもたちと深くふれあうことができ、それだけ、作品の内容やテーマに深い理解を得られることもうれしいことです。

私ども劇団の自力ではできない公演機会を得られることが、申請させていただき第一の理由です。

2) 「協力し合う」ことの大切さを感じ取り、心に刻んでいただければと願っています。

20代から70代までの役者が、年齢・経験の別なく率直に意見交換し合いながら創って来たことが、作品のアンサンブルにつながっています。

また、すべての観客が見やすいように座席を設営する工夫など、そうしたことすべてが、作品のテーマである「共に生きあう」につながっていると自負しています。

3) 私たちは過去6度にわたり韓国からの招聘を受けて公演を行いました。大道芸など、そうした交流の中で磨き上げてきたものでもあります。

私たちの作品が文化交流の分野で、隣国への理解を深め、尊重し合う一助となることを願っています。

4) 一般的に芸術鑑賞を企画される側は、どうしても有名作品(タイトルがよく知られているという意味)や公演料の安価な作品を選びがちになり、「良質の作品を提供したい」という劇団側の思いと矛盾する実態が、残念ながらあります。

本事業はより優れた作品を提供する、私たち創造団体を育てる事業と感謝し、申請いたします。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

1) 複数の担当者を置いて、学校や関係機関と密接に連絡を取り、本事業への理解を深めていただきます長年の学校現場での公演実績を活かし、担当される先生方との連絡、交流を行います。

2) 経費の軽減に努力します。

旅行社などのからの外注案内が来ていますが、全て劇団がへ配をすることによって不要な経費を削減します。又、出演者が、スタッフを兼ね、それ以外のスタッフを絞り込むことにより人件費を抑えます。

3) 出演者、スタッフに本事業の趣旨、意義を徹底させ、それぞれが公演先の先生方、担当者に伝わるよう努力します。

又、教育基本法での位置づけ、文化芸術基本法に基づく、学校教育の中での文化芸術(豚愛芸術)の果たす役割の大切さを先生方と共有し、子どもたちを励ます取り組みをしていきたいと思えます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財
一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財



子どもたちの一人ひとりの「生きる力」から
人と人の「生きあう力」へ

民族楽器の生演奏
韓国・朝鮮の大道芸も楽しい!!
思いやりとやさしさが、
トラと木こりの心をつなぐ!!
笑いあり涙ありの物語。

原作:韓国・朝鮮の民話から
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽、李在浩
脚本・演出:韓国・朝鮮と日本チーム
美術:内山勉、新井真紀
出演者による集団創作(デバイジング)

オペレッタ劇団ともしび

日本児童・青少年演劇団協同組合 加盟
国際児童青少年舞台芸術協会(アシテジ)日本センター 加盟

トラの恩がえし

オペレッタ 韓国・朝鮮の民話より

エンディングは、韓国・朝鮮の大道芸

民族楽器の
生演奏の楽しさが、
うたごえが
会場いっぱい
あふれます。

チャンゴ、プク、ケンガリなどの演奏にあわせての大サンモ。
コミカルで楽しくダイナミックなボナ回し(皿まわし)。
思わず、歓声と拍手が…。



制作にあたって

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする、韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語りつがれているお話です。トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。

たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎み合うという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。いな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日はありません。

優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超越して互いの人格を尊ぶ心を育てます。芸術作品は子どもたちの心を育てます。

昨日までの体育館が今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と客席を設営します。体育館の広いフロアで身近にダイナミックに演じます。



●お申し込み、お問い合わせは 月～金10時～18時 土曜10時～17時

オペレッタ劇団ともしび

〒171-0033 東京都豊島区高田1-12-17

TEL 03-6907-2731 FAX 03-6907-3812

<https://tomoshibi.co.jp>

Email info@tomoshibi.co.jp



あれ?お前、こんなにひどいケガが… 動くんじゃないよ!



何かのどに刺さっている
おいらがとってあげよう。



今日も山に木を切りにー。



なんだか、
気分だけ。
あんなに嬉しい
とっても楽しい

「お〜い
ず〜っと
トラよ!
友だちだからな〜」

「おれも
おれも友だちだぞ!」



どうだ。
この見事な毛皮!
こいつは
高く売れるぞ!



「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。
人間はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を喰うので、お互いに恐れあい、憎み合っていました。
山奥で母親と二人で暮らす、若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。
思いがけず助けられたトラは、怪我がなおると木こりへの恩がえしを始めるのでした。
さて最後の恩がえしは…

上演時間80分(休憩なし) 構成7名 暗幕不要